

NIRO DXセミナー

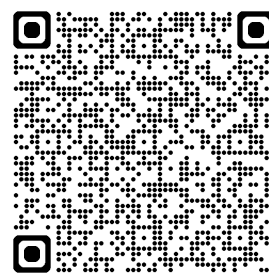
ものづくり企業対象

実践！ 生成AIを利用したものづくりのための**Python入門講座（伴走型）**

伴走型です。Python自体の講義は行わず、ご自身で選択した教材と生成AI（ChatGPTなど）を用い、ご自身のペースで学習する過程を支援する講座です。

- 日 時： 2026年 6月 16日（火） 9:30～12:00 オリエンテーション
2026年 9月 1日（火） 13:30～16:30 発表会
- 場 所： 神戸商工会議所会館 3階第1会議室（神戸市中央区港島中町6丁目1番地）
- 主 催： 新産業創造研究機構（NIRO）
- 対 象： 兵庫県下のものづくり企業でPythonを生産性向上（機器制御、データの取得、データの見える化など）に活用したい方
- 講座の流れ：
 - ・オリエンテーションでは、PCにPythonを使用出来る環境を構築し、そこで生成AIを使ってプログラムを作成し、実行させる方法を解説します
 - ・開発環境はCursor（VSCodeの拡張版）を想定しています
 - ・最初の約2ヶ月で5回の課題を出題して進捗を確認します
 - ・その後、約1ヶ月かけて各企業毎に業務効率化を行うツールを作成します
 - ・発表会は作成したツールを運用し、その結果を報告いただきます
- プログラム：
 - 1日目: Pythonの実行環境構築と生成AIで作成したプログラムの実行
 - メールによる課題の出題と添削
 - 以下の範囲での課題出題を想定しています
 - 1. 変数の型と演算子、文字列の取扱い
 - 2. 関数とモジュールの取扱い、条件分岐
 - 3. ループの使い方、関数と引数
 - 4. クラス、インスタンス、メソッド
 - 5. データの集計、グラフ描画、例外処理
 - 6. 各企業毎に業務効率化を行うツールを作成
 - 2日目: 作成したPythonツールを運用した結果の発表
- 参加費： 無料
- 定 員： 10名
- 監 修： NIRO コーディネーター 永山 貴久
- 持参品： ノートPC (Windows11： Cursorをインストールできること)
- お申込み・詳細： <https://www.niro.or.jp/information/20260512/56859/>

申込フォーム



■ 本講座の標準教材

本講座で使用する教材は各人で自由に選択できます。

但し、進捗フォローに関しては、筑波大学で使われている「Python ゼロからはじめるプログラミング」(三谷純著)を標準の教材とします。

本教材以外で学習される方も、右QRコード(もしくは下記URL)からダウンロード出来る「スライド教材」を御参考いただけます。

https://mitani.cs.tsukuba.ac.jp/book_support/python



■ その他のお勧め教材

ネット上のフリーの教材を対象にお勧めを選択しています。

1. 東京大学が作成した教材： プログラムを動かしながら学習できます。

URL <https://utokyo-ipp.github.io>

2. 京都大学が作成した教材 (Pdf)： マニアックですがよくまとまっています。

URL https://repository.kulib.kyoto-u.ac.jp/dspace/bitstream/2433/265459/1/Version2021_10_08_01.pdf

3. Python公式チュートリアル： 京大版よりマニアックです。プロになりたい人向け。

URL <https://docs.python.org/ja/3>

ここからは、民間色の強いサイトです。広告が嫌いな人には向きません。

4. PythonエンジニアによるPython3学習サイト (<https://www.python.ambitious-engineer.com>)

5. ゼロからのPython入門講座 (<https://www.python.jp/train/index.html>)

6. Python-izm ~Python の入門から応用まで (<https://www.python-izm.com/basic>)

7. ゲーム系学習サイト Paiza (<https://paiza.jp/entertainment>)

以下に各サイトのQRコードを表示します。ご参考下さい。



1. 東大 2. 京大 3. 公式 4. エンジン 5. ゼロから 6. izm 7. ゲーム系

■ ゴールイメージ

以下のようなプログラミング作業ができるようになることを目標としています。

但し、各企業で必要な機能は異なるので、全てを習得する必要はありません。

- ・ ネット上の簡単なプログラムの概要を把握できる
- ・ データの簡単な加工 (平均、文字列の変換、エクセルデータ化) ができる
- ・ データを使ってグラフを作成できる
- ・ センサーの型番からサンプルプログラムをダウンロードして実行できる
- ・ サンプルプログラムの一部を改造して、所望の機能を付加できる
- ・ OpenCVを使って、簡易監視カメラの作成や、液晶の数字の読み取りができる